

かわさき区の宝物シート

宝物No.	かりんどおり
4-5	かりん通り

エリア	中央地区	シーズン	春・秋
	八丁畷	日時	

目的	☒ 観る ☐ 遊ぶ・体験する ☐ 食べる ☐ その他
宝物定義	☐ ものづくり ☐ イベント・祭り ☐ 味づくり ☒ にぎわい ☒ 現代の文化的なもの ☐ 港めぐり ☐ 歴史的なもの ☐ 人物



写真提供：下並木町内会

所在地	川崎区下並木
問い合わせ	
TEL	
FAX	
E-mail	
URL	
交通	JR・京急八丁畷駅よりすぐ



基礎情報

- 京急八丁畷駅から横浜方面に向かう旧東海道のかりんの並木道。江戸時代は松や杉、榎が植えられた立派な並木道で町名の由来にもなった。
- 現在の「かりん並木」は地元、下並木町内会の要望を受けて川崎市が植樹したもの。春に白い花が咲き、秋にはたくさんの実をつける。毎年11月の原則第2日曜日には町内会でかりんの実を収穫するかりん祭りが開催され、来場者にはかりんの実が配られ、かりん酒づくりの体験もできる。

由来・エピソード

- 江戸時代、東海道を京都に向かう際、川崎宿を抜けると、隣の市場村（現鶴見区市場上町）まで田んぼの中の真っ直ぐな道（畷）が八丁（約870m）続いていたことが八丁畷の由来であるという。街道の両側には松、杉、榎が植えられ当時は「八丁縄手並木」と呼ばれていた。人家は少なかったという。大正時代に「下並木」「上並木」の町名がつけられたが、昭和39年(1964)の区画整理によって上並木は「日進町」と改称された。

補足・その他

関連シート

(1-1)川崎宿
(4-4)無縁塚